



S / N / A / AN / V1 : 常体形。ただし、「Nだ N」「ANだ AN」

基 本

例 文

- ① ここがわたしたちの席かどうか確かめましょう。
- ② すみませんが、語で、日本料理が好きかどうか聞いてください。
- ③ このツアーに参加するかどうか、明日までに決めてください。
- ④ 今日は何がおいしいかウエイターに聞いてみましょう。
- ⑤ 昔の人がどんな生活をしていたか調べました。
- ⑥ この建物がいつできたか知っていますか。
- ⑦ だれがこの詩を書いたかわかりません。
- ⑧ A : あのう、手紙を出したいんですが、郵便局はどこですか。  
B : ええと、ここをまっすぐ行って…。ちょっと複雑なので、いっしょに行きましょう。
- A : 大丈夫です。一人で行けますから、どこにあるか教えてください。
- ⑨ ホテルから博物館まで、どうやって行ったらいいか地図で調べましょう。
- ⑩ いくつかお弁当が必要か聞いてみます。

A. 「かどうか」は、疑問詞を含まない疑問文を名詞化する。(例文①～③)

わたしは、田中さんが旅行に行くかどうか知りません。

田中さんは旅行に行きますか。

B. 「疑問詞...か」は、「何、いつ、だれ、どこ、なぜ」などの疑問詞を含む疑問文を名詞化する。

(例文④～⑩)

どこで前売り券を売っているか電話で聞きました。

どこで前売り券を売っていますか。

C. 「Sかどうか」「疑問詞...か」は、文の構成要素になる。(例文①～⑩)

## 先生へ

「かどうか」「疑問詞...か」の後には助詞「が」「を」をつけることがある。

例1 2時までに明日のお城見学に参加するかどうかを連絡してください。

2 乗る電車が何番線に来るかがわからなくて、困りました。

3 ここに何泊するかを書いてください。

疑問文「Sんですか」「疑問詞...んですか」を名詞化する場合は、「Sのかどうか」「疑問詞...のか」となる。

例 なぜスケジュールが突然変わったのか説明してください。

なぜスケジュールが突然変わったんですか。

「SかどうかNです」「疑問詞...かNです」もあるが、ここでは扱わない。

例1 お金があるかどうか問題です。

2 どんな返事が来るか楽しみです。

V2に「わかる、知っている、覚えている、質問する、聞く、たずねる、教える、決める、調べる、Vてみる」などの動詞を使って練習するとよい。

### 【関連項目】

活-05 常体形  
文-25 Vこと  
文-69 の(名詞化)

### 【「れんしゅう編」の練習】

16-2 有名人にインタビュー  
16-4 おまわりさんの交番日記  
17-2 人気がある仕事